

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本競技会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技注意事項により行う。

※本競技会は、WRk（ワールドランキングコンペティション）対象競技会ではない。

2. 練習について

練習は第2陸上競技場、雨天走路および競技役員の指示する場所において競技役員の指示のもとに行う。棒高跳については、メインスタジアム内（棒高跳ピット及び周辺）で練習することができる。

練習会場の入場については、7時40分からとする。競技役員の指示により練習や移動を行い、試合に影響がないよう十分注意すること。

スポーツパーク内で投てき練習ができる場所は、第2陸上競技場のみである。その他の場所（シンボルタワー付近や競技場南側の芝生等）で練習することは非常に危険であるので絶対にしないこと。

3. 招集について

(1) 招集所は、南側サイドスタンド1階の雨天走路に設ける。※男女棒高跳については現地招集とする。

(2) 招集開始時刻と完了時刻は徳島陸協ホームページに掲載している競技日程『競技日程及び招集時間』で確認すること。※種目や組数により招集時間が違います。

(3) 招集の手順

①競技者は、南側サイドスタンド1階の雨天走路出入口から入場し、招集開始時刻までに、招集所内に掲示してある各種目別集合場所（コーン・張り紙等で掲示）で座って待機する。

②競技者は、招集開始時刻には招集所で座って待機し、競技者係の確認を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴・衣類、その他携行品の商標・サイズ等について確認を受ける。なお、シューズの靴底の厚さの規定については、徳島陸上競技協会ホームページで確認すること。〔TR5. 2〕

※規定外シューズでの参加を認めない。また、競技終了後、規定外シューズでの出場を確認した場合は失格とする。

③代理人による最終確認は認めない。但し、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、本人または代理人が2種目同時出場届を第1種目の招集開始時刻までに招集所（競技者係）へ提出すること。〔TR4. 3、TR25. 19〕

(4) 欠場の場合、欠場届を招集開始時刻までに招集所（競技者係）へ提出すること。なお、招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。

(5) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

(6) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用できない。〔TR6. 3〕

(7) 競技者は、競技場所へは係員や補助員の誘導・指示により入場する。

(8) 競技場内では、静かに行動すること。特に、待機場所へ移動・到着後は競技進行の妨げにならないよう十分注意し、静かに待機しておくこと。

(9) 2種目同時出場届、欠場届、リレーオーダー用紙は招集所に用意する。

4. 競技について

(1) トラック競技について

①不正スタートについては1回で失格とする。〔TR16. 8〕

②小学生の100mについては旧のスタートのルールを適用する。

③短距離走においては、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。

④トラック競技では、腰ナンバー標識（カード）を各自で準備し、写真判定に見えるようにユニフォ

ームで隠れないように右側の腰部に貼りつけること。なお、1500mを超える種目については、左右の腰部に貼りつけること。

下記についても確認して対応すること。

- ・男女4×100mRについては、**第4走者のみ右側の腰部**に貼りつけること。
- ・男女4×400mRについては、**全走者が左右の腰部**に貼りつけること。

※胸ナンバー標識（カード）は主催者で用意する。

- ・男女1500m・男子5000m・男子3000mSC・女子3000m・中学男女3000mは、招集所で胸ナンバー標識（カード）を1枚配布する。〔前面のアスリートビブスに貼付〕
- ・男女5000mW・男女4×400mRについては、招集所で胸ナンバー標識（カード）を2枚配布する。〔前後のアスリートビブスに貼付〕

腰ナンバー標識は、ラベルシールのものを競技者受付で1枚50円で販売する。（競技者受付はメインスタジアム1階の玄関ロビーに設ける）

なお、ラベルシールの腰ナンバー標識は粘着が少し弱いので、ユニフォームに貼りつけた後、安全ピンや布テープなどを用いてしっかりと留めておくこと。※各競技者で徹底すること。

(2) リレー競技について

①リレー競技は同一のユニフォームを着用すること。色・デザインが統一してあれば、同一のもののみなす。〔TR5.1〕

※デザインや配色（上）が同一で、同じチームであることが分かれば、ユニフォームの形状は問わない。

②レーンで行うリレー競技の競技者は、ダッシュマークとして自分のレーンにチョークや類似品を使わずに、最大50mm×400mmの粘着テープによって印を1ヶ所付けても良い。その印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。〔TR24.4〕

③リレーチームの編成は、少なくとも2人は申し込み時のメンバーでなければならない。〔TR24.10.2〕

④リレーチームの編成は、一度申告したら変更は認められない。申告後は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わなければ、チームは失格となる。〔TR24.11〕

⑤リレーオーダー用紙は、当該種目第1組の招集完了時刻の1時間前までに招集所へ1部提出すること。

(3) フィールド競技について

①三段跳の踏切板の位置については、11mと9mに設置して行う。

②走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、1位が決まるまでは下記の通りとする。

なお、棒高跳の公式練習はゴムバーを用いて行う。

種目		練習	1	2	3	4	5	6	7	8～
走高跳	男子	5cm刻みで高さを上げ、希望の高さを2回。	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.78	3cm刻み
	女子		1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	

種目		練習	1	2	3	4	5	6	7	8～
棒高跳	男子	20cm刻みで高さを上げ、希望の高さを2回。	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	3.90	10cm刻み
	女子		1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	2.90	

③急な天候悪化などの不測の事態が発生した場合のバーの上げ方は、フィールド審判長（跳躍）の決定による。

④棒高跳の支柱位置の申請は、公式練習前に口頭で申告する。

⑤試技に要する時間は、競技規則による。〔TR25.17〕

(4) 抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は、抗議に関連する種目の同じラウンドで競技している競技者またはチームに限りすることができる。〔TR8〕

定められた時間内に、競技者自身またはチームを公式に代表する者が、総務に対してまず口頭で行い、指定された控室で待機する。なお、総務室は、メインスタンド1階の第2会議室に設ける。〔TR8.5（競技中の抗議は認めない）〕

5. 助力について

競技場内の指定された場所（コーチングエリア）以外において、助力（指示や助言等を含む）を受けている競技者は審判長によって警告され、さらに助言を繰り返すとその競技者は失格となる。フィールド競技に関しては、指導者とコミュニケーションをとることができる。その場合は、競技場内のコーチングエリアからのみとする。ただし、競技役員の指示に従わない場合は助力を受けたものとみなす。

〔TR6.4.5（その録画再生機器や録画映像は、録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば競技区域内に持ち込むことが認められる。画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器を手にしても良い。）〕

6. 競技用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

7. 一般注意事項

(1) 記録は徳島陸上競技協会ホームページの記録速報サイトで掲載する。

(2) 記録証の交付を希望する競技者は、本部の役員・庶務係に記録証交付願および交付料金 500 円を添えて申し込むこと。

(3) 競技会期間中、競技場で発生した傷害や疾病は応急処置を行うが、その後の責任は負わない。

(4) 更衣は第2陸上競技場の男子・女子更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。紛失、盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。

(5) 競技会期間中に主催者に届けられた物品（遺失物）については、一時的に競技会本部にて保管する。競技会終了後はアミノバリューホール1階の管理事務室に問い合わせること。

(6) 競技場は常に清潔保持に努め、ゴミ等は各自で必ず持ち帰り処分すること。

(7) 競技者の意に反する写真撮影等の迷惑行為を行う者を発見したときは、速やかに本部係員まで連絡すること。

8. 撮影禁止エリアの設置及び不適切な撮影行為の禁止について

報道関係者など主催者が認めた方を除く、一般（選手・コーチ・大会関係者・保護者・観客を含む）の方の一眼レフカメラ、ビデオカメラ等での撮影を禁止する。（一般の方は、スマートフォンとタブレットのみ撮影可能。報道関係者など主催者が認めた方は、ビブスを着用。（撮影可能エリアのみ））

競技者がスターティングブロックを用いてスタートする場合の前方および後方からの撮影、跳躍競技者の助走前方からの撮影（棒高跳は助走前方および後方、走高跳は北側サイドスタンドからの撮影）についても禁止する。ただし、走高跳においてチームスタッフ（選手・監督・コーチ）が撮影する場合は、北サイドスタンドからの撮影を認める。

※撮影禁止エリアで撮影行為を発見した場合、また撮影禁止エリア以外でも不自然な撮影行為や盗撮が疑われる場合については、競技役員が撮影内容を確認させていただきます。なお、盗撮を発見した場合は、直ちに警察へ通報いたします。